

民生常任委員会

委員長 松井岑雄

【一般会計】

問 生活保護の扶助費は、国の予算では180億円減っているが、本町への影響はあるのか。

答 国全体の基準額は下がっているが、都市部ほどは下がっておらず、逆に上がっている世帯もある。

問 生活保護世帯の人数は何人か。

また、対象者の調査は行っているのか。

答 令和2年度は128世帯、147名を見込んでおり、ケースワーカーが収入申告等で収入の調査を行っている。

問 心臓手術などは、更生医療事業に該当するのか。

答 医師の診断書をもとに、人工透析や心臓手術等の医療費の補助を行うことになる。

問 救急安心センター事業の実績と周知方法を尋ねる。

答 昨年の7月から12月までの間で、月平均は4件、80歳代の方や40歳から50歳代の働き盛りの方々が多い。

全戸に配布した普及啓発チラシに続き、新年度では冷蔵庫貼付用マグネットシートの配布等を予定している。

【国民健康保険事業 特別会計】

問 顔認証システムの導入経費に係る国庫補助金が交付されるようであるが、計画しているシステム改修にそれが含まれているのか。

答 令和3年3月から、医療機関等においてマイナンバーカード又は被保険者証を提示することにより、被保険者資格の有無を確認するオンライン資格確認が導入される。

この度の改修は、採番・管理等を行うためのものであり、顔

認証システムの導入を含むものではない。

【介護保険事業特別会計】

問 成年後見制度利用支援事業とは、どのような事業か。

答 身寄りがない場合に町が申し立てを行うなど、低所得者等、後見人への報酬が支払えない方への支援である。

問 認知症カフェの利用状況は？

答 現在、町内3カ所のうち2カ所に補助しており、それぞれ10人程度が利用している。

令和2年度では、新たに2カ所の設置を目指している。

問 施設入所に関し、家族等による介護がある場合とない場合とで、入所の順番に違いはあるのか。

答 入所順は、施設ごとに認定区分や介護の状況等を点数化し決定している。

【病院事業特別会計】

問 職員の意識改革に関する取り組みは行われているのか。

答 医師を対象とした医局会



健康福祉部介護保険課の審査

議を3病院で実施し、橘病院に関しては各部門の責任者も含めての会議となった。

また、リハビリテーション科、放射線科の職員を対象とした会議も実施した。

問 増収対策について、具体的な方策はあるのか。

答 東和病院の患者数および診療単価のアップを図っている。令和3年度に予定していた一般病床の類上げを、令和2年度に前倒しができるよう取り組みたい。